

公認スクーバ・ダイビング コーチ2

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 一般財団法人社会スポーツセンター	
養成目的		スクーバ・ダイビング指導者の資質と指導力の向上のために、主として地域においてスクーバ・ダイビングの実践的指導にあたっている指導者ならびにこれから指導者になろうとする者を対象に、必要な知識と技能の習得を目的に養成する。また、指導団体及び組織のリーダーとして指導者の育成を担当する。	
役割		地域のスポーツクラブや講習会等において、レベルに応じたスクーバ・ダイビングの専門的指導等にあたる。また、地域スポーツにおけるスポーツ・ダイビングの組織育成、運営指導にあたり、スクーバ・ダイビング公認指導員の育成、指導にあたる。	
養成講習会に係る内容	受講条件		受講年度の4月1日現在30歳以上の者。指導員資格取得後おおむね3年を経過しており、地域においてスクーバ・ダイビングの専門的指導にあたっている指導者で育成委員会が認めた者。
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅱ(135h)
		専門科目	専門科目(68h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅱ:16000円(税抜)※別途リファレンスブック代:3000円(税抜)
		専門科目	専門科目:別途定める。
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<p>■講習会 カリキュラム(68h)に基づき、(一財)社会スポーツセンターが実施する3日間の集合講習と自宅学習を開催する。</p> <p>■検定試験 試験は、講習会時に実施することとし、(一財)社会スポーツセンターのスクーバ・ダイビング指導者育成委員会が可否を判定の上、結果を講習会終了後、3ヶ月以内に受験者に通知する。 「スクーバ・ダイビングの特性と基礎理論(Ⅰ)(Ⅱ)」は筆記試験により実施、他の科目については技能テストにより実施する。 筆記試験は、各科目担当講師が出題する。 技能テストは、(一財)社会スポーツセンターのスクーバ・ダイビング指導者育成委員会が出題する。</p> <p>■審査 合格者の判定は試験結果を(一財)社会スポーツセンターのスクーバ・ダイビング指導者育成委員会で審査の上、各科目ごとに60点以上(100点満点)を合格とする。 (技能テストによるものは、70点以上を合格とする。)</p> <p>■免除要件 特になし。</p>
登録に係る内容	登録料(4年間)		基本登録料:10,000円
			資格別登録料:10,000円
			初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円
更新登録要件		資格登録有効期限4年間です。資格有効期間中の活動実績を提出するとともに、(一財)社会スポーツセンターの実施する更新研修会を、有効期限が切れる6ヶ月前までに2回以上受けなければならない。	
特記事項			

公認スクーバ・ダイビング コーチ 2

2019年4月1日現在					
区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 海洋関連の知識	①	海洋学の基礎	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	②	自然保護 II	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	③	関連する海洋諸法規	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	④	海洋性スポーツとダイビング	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑤	世界のダイビングの現状	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑥	日本のダイビングの現状	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑦	海底地形に関する知識と利用	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	小 計			0.00 h	7.00 h
② ダイビングに関する 知識	①	ダイビング適性と安全 II	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	②	各種ダイビング器材の構造と作動の原理	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	③	潜水生理学・潜水医学 II	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	④	潜水物理 II	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑤	減圧理論・ダイブコンピュータ II	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑥	潜水障害・減圧障害 II	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑦	水中環境および水辺の環境	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	⑧	潜水計画 II	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑨	緊急対処計画 II	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑩	空気以外のガス（ナイトロックスなど）でのダイビング	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	⑪	その他の潜水器についての知識	0.00 h	2.00 h	2.00 h
小 計			10.00 h	18.00 h	28.00 h
③ ダイビングの技術	①	高度な水泳指導技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	プール・限定水域での高度なスキン・スクーバ技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	オープンウォーターでの高度なスキン・スクーバ技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	ボートダイビングでの高度なスキン・スクーバ技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑤	セルフレスキューでの高度なスキン・スクーバ技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	バディレスキューでの高度なスキン・スクーバ技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	チームレスキューの高度なスキン・スクーバ技術	2.00 h	0.00 h	2.00 h
小 計			8.00 h	0.00 h	8.00 h
④ 指導と管理法	①	コーチ2（インストラクタートレーナー）の役割	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	②	理論講習のプレゼンテーションの指導	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	プール・限定水域指導法の指導	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	オープンウォーター指導法の指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑤	グループ管理法の指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑥	ダイビング活動の管理と安全対策の指導	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	レスキュー指導法の指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑧	評価法と評価の指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑨	ダイビング講習実施に関する指導法	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑩	グループ管理・監督・問題解決に関する指導法	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑪	ダイバーの心理と安全	0.00 h	1.00 h	1.00 h
小 計			5.00 h	8.00 h	13.00 h
⑤ .安全の確保と緊急対 処	①	緊急事態とレスキューの指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	ファーストエイドの指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	③	CPR・AEDの指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	④	緊急酸素の指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑤	現場の確保と搬送の指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑥	事故後の対応と報告の指導	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑦	危機管理と保険	1.00 h	2.00 h	3.00 h
小 計			4.00 h	8.00 h	12.00 h
			27.00 h	41.00 h	68.00 h